

平成23年度

建築士会姫路支部青年部会 研修旅行 事業報告書

平成24年2月23日作成
西脇 聖嗣

この度、直島・犬島を巡る研修旅行を行いました。行程は2日間にわたり、両日とも晴天に恵まれ、大変有意義な研修旅行となりました。

研修旅行 概要

泊り組 日程：平成24年2月11日（土）～平成24年2月12日（日）
日帰り組 日程：平成24年2月12日（日）

参加者 泊り組 大久保真理、栗原恒夫、林昭、西脇聖嗣、森澤理恵子
日帰り組 有國智都子、有國義則、江端みき、神頭千智、小林義紀、桜井耕太郎
寺本喜亘、原田建弘、福岡憲昭、房谷明子、南都英敏、山本直美
（支部会員：11名 一般：6名 計17名）

行程

平成24年2月11日（土）



定期船で直島へ渡り、まず初めに海の駅「なおしま」（設計：妹島和世）を見学。



路線バスに乗り移動し、
家プロジェクト・町並みを見学。



ベネッセシャトルバスでアートサイトへ移動。
地中美術館（設計：安藤忠雄）・屋外アート等を見学。

直島では建築作品の他、多くの芸術家の現代アートを見ることが出来ました。
芸術とは何か、深く考えさせられた一日になりました。

平成24年2月12日（日）



日帰り組と合流し、犬島へ渡りました。
チケットセンターにて昼食を済ませ、ガイドスタッフの方の案内で
精錬所（設計：三分一博志）を見学。



引き続きガイドスタッフの方の案内で家プロジェクト（設計：妹島和世）を見学。

精錬所の遺構を活用した美術館は、自然のエネルギーを活かし環境に負荷を与えないよう
設計されており、また展示作品は高度経済成長期に生きた三島由紀夫を題材とした
アート作品でした。
これらが近代化の幕開けの象徴である精錬所と重なり合い、現代社会への強いメッセージ
を感じとることが出来ました。

帰りは日生に立ち寄り、町並み散策、日生カキオコを楽しみました。